

令和6年11月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
11月6日	11月22日	<p>第二小学校・中学校について 一部の委員の意見では無く学区内の子供が居る全ての家庭の意見を聞いて判断をして欲しい。 また、委員とは何歳の方々なのか？現在学区内の学校に通って居る子供の親でしょうか？</p>	<p>頂戴したご意見につきましては、教育委員会に関するものであるため、教育委員会事務局から回答いたしません。</p> <p>第二中学校区の学校規模・学校配置の適正化につきましては、令和5年10月に保護者を含む関係者、有識者で構成する「第二中学校区 学校の未来を考える会」を設置し、令和6年9月まで6回の会議を開催し、ご意見を伺いました。</p> <p>委員の内訳としましては、有識者の大学教授、保護者、自治会、学校の代表者の計21人、年齢は40代から70代であり、選任に当たっては各組織・団体から推薦をいただきました。</p> <p>適正化の方針決定に当たっては、考える会での意見・報告に加えて、11月5日から15日までの間、第二中学校区の未就学児を含む全ての保護者を対象に意識調査を実施し、その結果も反映することとしております。</p> <p>市教育委員会として、令和7年早々の方針決定・公表を予定しておりますが、出来る限り多くの方々からご意見を伺い、子供たちにとってよりよい教育環境の整備と教育の質の更なる充実に向けて取り組んでまいります。</p>	教育企画課
11月22日	11月29日	<p>大岡中学校の保護者による近隣スーパーへの駐車について 大岡中学校の保護者は、運動会や説明会、何か集まる物があるたびに、近隣のスーパー、静鉄ストアの駐車場に車を停めていて、非常に迷惑です！ まず、スーパーの駐車場が満車になって車が停められないので迷惑です。 次に、下校中の小学生、幼稚園児がいるのに、急いでいるのか歩行者を優先する事なくグイグイ詰めて来る運転してくるので危険を感じます。 また、静鉄ストアの交差点が複雑で、直進車、大通りからスーパーに入る車、脇道に曲がってからスーパーに入る車、シャトレーゼに入りたい車、線路踏切りに並ぶ車があるので、歩行者の方が車を避けたりして肩身の狭い思いをしている交差点です。 中学校に注意してください。</p> <p>同じ公立中学の沼津市立中学の先生は、近隣の商業施設に立って、保護者が車を止めない様にしています。その様子を見て有難いなと思っていましたが、大岡中は止めたい放題で、車のマナーも良く無いです。</p>	<p>日頃から、本市学校運営に御協力をいただき、ありがとうございます。 いただいた御意見につきましては、学校運営に関するものであるため、教育委員会から回答させていただきます。</p> <p>この度は、大岡中学校周辺の状態について、御意見をいただきありがとうございました。 大岡中学校に確認したところ、体育祭や面談などの度に、その通知文において保護者に注意喚起しているとのことでしたが、地域住民から御意見があったことも含め、改めて、保護者が来校する機会がある場合に注意喚起を確実に行うよう、指導いたしました。</p> <p>教育委員会としては、大岡中学校に限らず、学校行事などを行う場合は、学校周辺の店舗や住民の皆様にも迷惑がかからないように事前通知や配慮を徹底するよう、学校に指導してまいります。 今後とも、御理解と御協力をお願いいたします。</p>	学校教育課

令和6年7月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
7月10日	7月18日	<p>通学バスについて</p> <p>年々、夏は猛暑が当たり前になってきていますが、登下校が片道30分かかる子の親としては、倒れてしまわないか心配です。夏になると顔を真っ赤にして、汗だくで帰ってきます。両親共働きのため、登下校の時間に必ず車で送迎する訳にもいきません。気候の変化とともに、学校のあり方も変わるべきではないでしょうか。例えば、公立の小中学校でも通学用にバスを出してもらえたらとても安心します。</p>	<p>日頃より本市学校運営に、御協力をいただき、ありがとうございます。いただいた御意見につきましては、学校運営に関するものであるため、教育委員会から回答させていただきます。</p> <p>現在、各学校では、登下校時の熱中症対策として、水筒の持参はもとより、帽子・日傘・扇子・うちわ・ネッククーラーなどの持参や着用を、積極的に呼びかけております。また、地域の方々には、暑い中ですが引き続き、登下校の見守り活動などを行っていただき、児童生徒の通学時の安全確保に御尽力していただいているほか、最近の酷暑を鑑み、学校によっては下校時の引き渡しを実施している場合もございます。</p> <p>保護者の方の御事情もありますので、毎回送迎することも難しいものとは思いますが、そのような際には対策用品等を活用しながら、安全に登下校できるよう御協力をお願いいたします。</p> <p>なお、御提案いただきました通学バスに関しましては、小学校3年生以下の児童については3km以上、小学校4年生以上の児童及び中学校の生徒においては4km以上の通学距離が生じている場合には路線バス等にかかる経費の一部を支援しておりますが、市内全域における通学バスの導入については、現段階では実施する予定はございません。</p> <p>今後とも、教育委員会及び学校において、児童生徒の安全安心を第一に考え、対応してまいりますので、引き続き、お気づきの点や御要望がございましたら、御相談ください。</p>	学校教育課

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
7月23日	7月30日	<p>小学生のchromebookについて 市内の小学校に子供2人通っております。 3年生から毎日毎日Chromebookを持って行き持ち帰り… ランドセルと教科書、Chromebookで5キロあります。 Chromebookを使った授業はほとんどしていなく、雨の日の 休み時間に使用するくらい。 家でも全く使いません。 学校に置いて学校で管理して欲しいです。 学校では責任持ちたくはないんでしょうが。 こちらも同じです。 家に小さい子供がいると触りたがる。 言ってもまだ分からない乳幼児がいる家庭はかなり苦労し ています。 教科書もなぜ学校に置いておいてはいけないのでしょうか。 Chromebookを毎日持ち帰りするならば、宿題の音読する ページや明日の予定をChromebookで送れば良いと思いま す。 実際、清水町は一年生から毎日持ち帰りだが、予定は Chromebookで送っている。 長泉町は教科書全部学校に置いて帰っている。 沼津市はそんな事はしない。 改善していただけませんか。 学校の面談で先生にもお伝えしましたが、きっとそのまま やむやみになって終わるんでしょう。 子供によって体格差もあり、小さい身体の子はかなりきつ いです。 大人が持ってもかなり重たいと感じ、持っているのは辛いで す。 一度子供たちが持っているランドセル、教科書、 Chromebookを背負い、横断バックをばんばんにして持っ てみてください。</p>	<p>日頃より本市学校運営にご協力をいただき、ありがとうございます。 いただいた御意見につきましては、学校運営に関するものであるため、教育委員会から回答させて いただきます。 Chromebookの持ち帰りがお子様の身体的負担であること、改善を学校に求めて改善されないこと への懸念など、子供たちの困り感に寄り添った御意見をいただきありがとうございます。 Chromebookの持ち帰りについては、文部科学省から、家庭でも学校と同じように学習できる環境を 整えることが推奨されていることを受け、沼津市教育委員会としても持ち帰りを推進しております。た だし、御指摘のようにChromebookの分の重さが増加することにより、子供の身体的負担は大きくなる ため、家庭学習での取組方法の工夫や、持ち帰る教科書などの学用品を限定することなどについて 配慮するよう、学校に通知し、対応しているところです。 しかしながら、十分な配慮ができていない学校があるとの御指摘をいただきましたので、改めて各 学校に通知し、発達段階に応じた対応をとるよう改善し、子供たちの負担軽減を図ってまいります。 この度は、現状を気にかけて御連絡をいただきありがとうございました。教育委員会としても、改め て子供一人一人の思いを大切にされた教育活動の推進について学校へ伝えてまいります。 今後とも御理解と御協力をお願いいたします。</p>	<p>学校教育課</p>

令和5年11月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
11月20日	12月4日	<p>公立小学校トイレ改修工事について 門池小のトイレはまだ和式もあつたり、昔ながらの汚くさいトイレです。 予算の関係もあり、公立の小中学校を年度ごとに改修工事を行っていると思いますが、来年度や再来年度どこの学校を改修する予定ですか。 (門池はいつの予定?) 市民にもわかるように公表してほしいです。</p>	<p>小中学校のトイレについては、未だ和式トイレが多く残っていることなどから、御心配をお掛けしているところですが、昨年度、市内全校の体育館のトイレ洋式化を行いました。また、新年度に向けた春休み期間等に、門池小、愛鷹小及び原小において、小学校低学年の児童が利用するトイレの一部洋式化を行ったところ。来年度以降につきましても、引き続き、学校ごとの児童生徒数や洋式化の割合等を見ながら、順次改修を進めてまいりたいと考えております。 このほか、学校の建替えや改修等については、令和3年3月に策定した「沼津市個別施設計画(公共建築物編)」に基づき、老朽度などを考慮し、計画的に進めていくこととしており、門池小学校についても令和元年度に新築した南西校舎以外の北校舎、南校舎の建替え等を順次、計画的に実施していくこととしています。 今後も、児童・生徒にとって気持ちの良いトイレ環境となるよう努めてまいりますので、何卒、御理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。</p>	学校管理課

令和5年9月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
9月20日	10月10日	<p>幼稚、保育園、小中学における給食費の無償化 近隣の市町村で少しずつ、コロナ禍や物価高による子育て支援の一環として給食費の無償化をスタートさせた市町村があります。 沼津市としては今後どのようにお考えでしょうか？</p> <p>オムツ持ち帰りの廃止など、少しずつ関心を向けてくださっているのを感じております。 どうぞ引き続き、沼津市はどこの市町村よりも安心して子育てができる街にしたいと考えております。</p>	<p>日頃より、本市の子育て行政に対しご理解、ご協力をいただきありがとうございます。 学校給食については、学校給食法に基づき、職員の人件費や施設、設備に要する経費以外は保護者の負担とされており、受益者負担の原則から食材にかかる経費については、学校給食費として保護者の皆様にご負担をお願いしております。</p> <p>その一方で、昨年度より不安定な国際情勢の影響により、国内でも物価高騰が続いております。物価高騰に併せて学校給食費の値上げをいたしました。令和5年度は、激変緩和措置として、値上げ前の給食費に据え置き、学校給食費の値上げ分約10%を市費で負担し、学校給食の質及び量を確保しております。</p> <p>また、保育所等の給食費については、小学3年生までを児童としてカウントし、第3子の副食費を無償とする国の制度がございますが、当市では同一生計であれば、年齢要件を問わず一律に第3子の副食費を無償とし、さらに国の基準設定金額に月800円を上乗せして軽減するなどの独自施策に努めております。</p> <p>物価高騰に対しては、令和4年7月から12月にかけて、給食費の値上げによる保護者の方の負担増を防ぐため、給食材料費の高騰にかかる各保育所等への補助を実施しました。</p> <p>子育てしやすい環境づくりにおきましては、こうした保護者の方々の負担軽減に加え、利便性の向上も重要であると考えており、本年7月より実施しておりますオムツ持ち帰り廃止や、保育所等のICT化にも取り組んでおります。</p> <p>今後も、よりよい施策について検討し、子育てしやすい環境づくりに努めてまいりますので、ご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。</p>	<p>学校教育課 子育て支援課</p>

令和5年5月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
5月29日	6月8日	<p>中学の通学靴やPTA活動 三島の保護者から聞きましたが、三島の中学では、沼津のように全員白いスニーカーではなく、何色でも可能で自由と聞きました。沼津も三島のように靴は決して安い買い物ではないので自由にしてくれませんか？ 中学生は成長期でもありすぐにサイズアウトしてしまう為白いスニーカーですと普段にはいかにも学校用で使いづらいですし、汚れも目立ち洗っても砂や泥は落ちにくく、本当に使いづらいです。PTA活動も強制は違法であり廃止する学校も多く、その事が最近では母親の間でかなり浸透しているかと思えます。三島ではPTAも立候補者のみで活動するそうです。沼津も共働きの保護者の負担も考えていただき、入退会も自由にしていただきたいです。 沼津では金岡校区が一番強制的で活動も多く大変と役員さんの知り合いから聞いてます。 くじ引き抽選で決めるやり方も強制です。 時代に合っていないですね。 出来れば決め方や活動を市で統一してください。</p>	<p>ご指摘のとおり、市内の一部の中学校においては、校則として白いスニーカーの着用を求めていることは承知しております。校則は、児童生徒が遵守すべき学習上、生活上の規律として定められ、健全な学校生活を送り、よりよく成長・発達していくために設けられているものです。 本市においても、社会通念に照らして合理的とみられる範囲内で、学校や地域の実情に応じて、学校長が定めており、白いスニーカーの着用については、華美な身だしなみとならないこと、清潔感を与えることなどを理由としております。 その一方で、白色は、登下校以外での使用の難しさや、汚れ等への対応が必要であることも承知しております。 教育委員会としては、学校を取り巻く環境や児童生徒の状況の変化に対応するため、校則は絶えず見直しをしていくものであり、見直す際においても、児童生徒が主体的に考える機会を設定することや、毎年1回は見直しが行われるよう学校に指導しております。 いただいた御意見につきましても、学校に伝えさせていただき、今後各学校における見直しの際の参考とさせていただきます。</p> <p>PTAの活動についてですが、本市では「地域総がかりの教育」に向けて学校・家庭・地域の連携を促進する取組を進めております。その中において、保護者と教員から組織されるPTAは重要な組織であり、今後も継続して活動をしていただきたいと考えております。 教育委員会としては、社会の変化に即し、学校や地域の実情に応じた運営や活動が求められると考えております。その活動は会員の皆様により主体的に運営されており、方法等については、各PTAで検討していただいていることから、いただいた御意見は各学校のPTA会員で組織する沼津市PTA連絡協議会へ伝えてまいります。御理解のほどよろしくお願い申し上げます。</p>	<p>学校教育課 生涯学習課</p>

令和5年4月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
4月6日	5月2日	<p>沼津市内の公立中学校の制服について 子どもが沼津市内の小学校に通っています。 (2023年より5年生) 近隣市町の公立中学校の制服が男女共にブレザーに変更されています。(夏はポロシャツ) 女子に対しては、スカートとスラックスの選択やリボンとネクタイの選択も出来るとの事。 息子には感覚過敏があり首の辺りが締め付けられる洋服を着ることが出来ません。 この様な特性を持つ子どもや、ジェンダーレスの観点、また経済的負担の軽減と言う利点からも近隣市町の様に、早急に制服の変更を検討していただけたら助かります。 2025年の入学に間に合わない場合、沼津市以外への引っ越しを考えなければならないかもしれません。 是非早急にご検討お願いします。</p>	<p>中学校の制服につきましては、平成27年の文部科学省からの通知において、性自認の問題に悩む生徒に対する支援の参考として、自認する性別の制服等の着用を認める事例が示されています。 本市教育委員会といたしましては、外見の性に即した制服の着用による苦痛を感じる生徒に対する配慮の観点から、校則で定める制服の種類等に関わらず、自認する性別の制服等の着用等について、生徒本人の意向を踏まえ、周囲の理解を得ながら個別に対応していく必要があると考えており、その旨の指導を各中学校に徹底してまいります。</p> <p>ご意見のような身体的な事情により校則で定める制服の着用が難しい場合などにおいても、ジャージでの登校等の方法をとるなど柔軟に対応するよう各学校に周知しております。 質問者様のご住所地における市立中学校に、あらためて、身体的な事情により制服の着用が困難な生徒に対する対応について確認したところ、ジャージ登校のような方法を柔軟に認めているとのことでした。ご入学の際には、ご入学予定の学校に事情等をお伝えいただければと思います。 また、制服についてですが教育委員会としましては、制服等を定める校則自体、校長の権限において内容決定するにあたり、児童生徒の実情や保護者の考え方、地域からの意見、時代の進展等が反映される仕組みの下でスピーディーに検討が行われる必要があると考えております。 今後、全中学校区への導入を予定している学校運営協議会において、地域の理解を得た上で「制服の在り方」に関する検討が早期に進むよう、各学校に働きかけるとともに、先進事例の情報提供等にも取り組んでまいります。</p>	学校教育課
4月6日	4月26日	<p>学校配布物のデジタル化やPTA活動 知り合いの父母達が三島在住で子育てしています。 三島市では公立小学校の学校からの配布物がデジタル化しているとのこと。学年、クラスで配布する物が異なるので各担任が送信しているそうです。 また、PTAも時代に合わせた形で完全ボランティア制に切り替わったそうです(数年前に)。 沼津の学校のPTAのような、脅迫のような文章の役員アンケートやくじ引き等の強制的な決め方も廃止したとのこと。 沼津も三島市をお手本に時代に合わせた子育てと学校の仕組み作りをお願いします。 PTAは強制ではなく任意です。入退会は自由でありボランティア。という事を周知が不十分ですので全保護者へ案内して下さい。</p>	<p>学校配布物のデジタル化については、現在、紙媒体の配布物が主となっておりますが、配布物の内容を考慮し、各学校のホームページやメール配信システム等を活用しながら、デジタル化にも対応しております。 在籍や経費に係る書類、様々な行事等の参加承諾書などは、児童が保護者に確実に伝える大切さや、その機会によるコミュニケーションの創出、内容の共有など、教育の一環としてのメリットも多いため、保護者の署名・確認等を必須としているものとして紙媒体で配布しています。 今後も配布物のデジタル化と紙媒体での配布を選択しながら、ICT環境の効果的な活用に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>本市では「地域総がかりの教育」に向けて学校・家庭・地域の連携を促進する取組を進めております。その中において、保護者と教員から組織されるPTAは重要な組織であり、今後も継続して活動をしていただきたいと考えております。 教育委員会としましては、社会の変化に即し、学校や地域の実情に応じた運営や活動が求められると考えておりますが、一方でその活動は会員の皆様により主体的に運営されており、方法等については、各PTAで検討していただいていることから、いただいた御意見は各学校のPTA会員で組織する沼津市PTA連絡協議会へ伝えてまいります。御理解のほどよろしくお願いたします。</p>	学校教育課 生涯学習課

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
4月27日	5月9日	<p>成人式について 成人式が沼津市の各中学校で行われているが、寒く、味けないのでプラサヴェルデと新しい市民体育館で学区ごと時間を分けて行ってほしいです。</p>	<p>沼津市では、成年年齢を十八歳とする民法改正に伴い、いわゆる成人式を「二十歳の集い」と改名して開催しております。</p> <p>「二十歳の集い」は、二十歳の方々が大人としての自覚を新たにするとともに、友人や恩師と再会できる貴重な機会であります。</p> <p>さらに、本市の「二十歳の集い」は17中学校区ごとに、各自治会等の皆様が中心となっていただき、地域の方々に見守られ成長してきた二十歳の皆様の人生の節目を地域でお祝いする場となっており、それにより青少年健全育成の機運が醸成されていると考えております。</p> <p>プラサヴェルデと総合体育館で学区ごとに開催する等、市内にメイン会場を設け開催する方法もありますが、地域で祝う親しみや温かみが失われるなど課題もありますので、頂いたご意見を参考とさせていただきます、「二十歳の集い」のよりよい運営に努めてまいります。</p>	生涯学習課

令和5年3月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
3月9日	4月3日	<p>一般質問「学校内フリースクールを設置する考えは」について</p> <p>学校にいけない子供たちの居場所作りについて考えていただきありがとうございます。コロナ禍において、一人一台タブレット端末による学習環境の整備(子供たちが選択できる学習アプリ、リモート授業等)、給食費無償化(令和4年10月から令和5年3月まで)早急に対応していただきありがとうございます。学校にいけない子供のいる家庭では、コロナ禍による休校(少しでも体調が悪いと欠席する)、リモート授業、給食費無償化、大変、心が救われたのではないのでしょうか。私もその一人です。私は、3人子供がいますが、現在高校2年生の子供が小学5年生の時から登校しふりをしています。そして、兄弟で不登校児がいるという確率で兄弟間不登校が発生します。</p> <p>現在、高校2年生の子供が5年生のとき、居場所として相談室を設置していただきました。他にも登校しふりをしている子、教室に入れない子もいて、学習に遅れが気にならないようにだれか先生がいて、学習支援をしてくださいました。それから、6年、2番目の子供が現在5年生で登校しふりをしています。今、〇〇小学校に相談室があります。しかし、6年前と違って生徒の減少、子供たちの多様化、教職員不足、教職員異動による学校運営の変化によって利用できません。安全面から子供だけの利用もできません。来客用の部屋となっています。現状を知っていただきたいので投書させていただきます。児童生徒支援員や授業を担当していない教員が交代で学習支援を行うというのは、教員の人数が足りず、声を上げた登校しふり一人の為に配置してもらうことはできません。学校によっては、保健室が子供たちの居場所として利用できる学校もありますが、心の体調不良以外での体調不良者の利用が原則です。</p> <p>一番上の子が、〇〇中学校へ通っているときは、相談室が2部屋あり、常にだれか先生のいる状況でした。中学生になると各クラスに一人は不登校児がいて、小学校より学習支援が充実していると思います。また、〇〇中学校保健室に〇〇先生がいらっしやってから、より不登校児に対して手厚くなっていると思います。私の子供も中学3年生の時、助けていただきました。〇〇先生に出会っていなければ高校に行けていなかったかもしれません。私は、平日朝朝、登校しふりをする子供3人を3人の時間に合わせて送迎します。その時に、よく〇〇先生が、もう一人先生を連れて〇〇中学校区を回っているのみです。きっと、毎日、不登校の子供のところへ行き、会えるかどうかかわからない、会っても登校できるかわからないけど、会いに行くというのを毎日されているのだと思います。自分がこれだけのことをしたから、学校へ来て当然でしょうというような見返りのない、誰一人置き去りにしない環境づくりそのものだと感じます。誰でもできることではないので、これを続けるというのは大変で、誰もが賛成してくれるわけではないので理解してもらうまで苦労されていると思います。</p> <p>各学校にフリースクールのような子供の居場所があれば選択肢としてあればいいと思います。しかし、不登校児の保護者がフリースクールという選択をするまでに時間がかかります。子供が登校しふりをすれば、保護者は遅刻、欠席の連絡を毎日し、『自分の子供は学校に行けない。』と無言の圧をかけられます(リバー導入により負担軽減しました)。行けないことで子供も保護者も心が折れます。学校へ相談、カウンセラーに相談、病院受診、青少年教育センターへ相談、学校以外で利用できる場所がないか保護者が孤独の中、模索します。利用できる場所があれば、子供が利用できるか子供と一緒に見学に行きます。利用できるなら慣れるまで付き添います(青少年教育センター利用の場合、週1回50分程度)。保護者が相談に行くことができ、仕事を休むことができる家庭環境であればこのようなことが何か月かかけてできます。何か月かけても登校できなくなるかはわかりません。何年も向きあわなければならない場合もあります。解決するかわかりません。そして、生活優先の家庭では、なんの支援も受けることができないまま子供がうちでお留守番、義務教育の期間が終われば自動的に卒業していくのです。子供が、家にいるという選択をしたのでしょうか。家にいるという選択肢でしか自分を守る方法しか知らなかったのではないのでしょうか。色々な選択肢を知っているか、知らなかったでは大きな差があります。通級指導教室がある学校、相談室、保健室利用できる環境があれば、家以外の選択肢が学校の中でできます。教室で今以上に自己肯定感を下げることなくエネルギーを貯め、安心感が得られたら教室へ戻っていくと思います。しかし、居場所がなく不安な状況が続けば自分を守る為、家にいるしか選択肢はなくなります。新しく何かを作らなくてももう少し、学校に行きにくい子の味方になってくれる大人たちが関わってくれたら、救われる子供たちが多くなるのではないかと考えています。どうせやらないから、プリントを配らない、リモート授業に参加しないから繋げてみようがないと思わないで欲しいです。登校しふり、不登校の子供たちはいつプリントをするか、リモート授業に参加するかわかりません。でも、いつ参加するかわからないけれど、クラスに一人でも来ていない子がいたら、いつでもリモート授業に参加できる環境づくり、毎日の予定をクロムブックにあげ続けてくれる先生がいたら、その気持ち、安心できる環境として子供に届いています。私はそういう先生に何度も会いました。たくさん助けてもらいました。子供は、今、学校へ行けないかもしれないけれど、見て、思いを感じています。相談室の指導体制の前に利用体制の現状をお伝えたくて投書しました。毎日、夜遅くまで学校に電気がついていました。先生方、多忙な環境で大変だと思いますが、誰一人置き去りにしない教育環境が少しでもいい方向に向きますように。</p>	<p>本市においては、学習意欲があるものの、教室に入ることができない児童生徒のために、市内小中学校の各校内に相談室等の別室を設け、学校生活を送る環境を整えることとしております。しかしながら、御指摘のとおり、一部の学校においては、特別支援学級の増加等により、相談室等の場所が十分に確保できず、保健室等を活用する学校があります。</p> <p>また、〇〇小学校をはじめ、学校の規模や児童生徒の特性等により、相談室に教職員等が常駐できていない学校があります。</p> <p>さらに、全国的に問題視されている教職員不足は、本市においても例外ではなく、十分な体制が整えられず御心配をおかけしていることと思います。</p> <p>教育委員会といたしましては、児童生徒一人ひとりの多様な考えに応じられるよう、学校を含め、様々な居場所の確保が必要であると考えております。</p> <p>また、不登校状態である児童生徒に対しても、「社会的自立」を目標とし、様々な他者からの関わりが不可欠であると考えております。</p> <p>このことから、児童生徒の居場所や学びの場を確保するための体制整備に引き続き取り組むとともに、各小中学校において、特別支援コーディネーターや養護教諭が学級担任を支援しながら、児童生徒一人ひとりが学校に通い、共に学びたくなるような魅力ある学級運営を進めてまいります。</p> <p>今後とも、学校の教育活動等への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。</p>	<p>学校教育課</p>

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
3月20日	4月3日	<p>市内小学校の写真閲覧について</p> <p>10年ほど前の記憶ですが、〇〇学校の自然教室における入浴で、女性教員に写真を撮られたことを憶えております。非常に軽い、所謂「ノリ」で撮った写真だと思われませんが、自分が親になった今、その写真のデータがどこで何に使われているのかとても不安になります。</p> <p>古い記憶ですし、もうそのデータの行方を問いただす気はありませんが、今思い返すと、その頃小学校では事あるごとにカメラを向けられていました。</p> <p>思い立って「〇〇小学校」と検索すると、でるわでるわ、当時の写真の山です。インターネット上で、何の閲覧制限もなく、当時の写真がごろごろと転がっています。正直、微笑ましい一割、ゾッとする九割です。</p> <p>当時、保護者に向けて、写真を公開する同意書が年度始めに配られていたことも憶えています。しかし我々はすでに成人しており、その同意書の有効性も疑問です。</p> <p>長くなりましたが、結論を申し上げますと、市内小学校のweb上に残った過去の写真や記録は、少なからず閲覧制限をかけて頂きたいです。</p> <p>難しく独りよがりなお願いかと思いますが、よろしくお願ひします。</p>	<p>現在本市の各学校のHP上の写真は、各御家庭の同意書をいただいているものの、多くの写真が児童生徒の卒業後も長年にわたり掲載されたままの状態にあります。スマートフォンやタブレット等がこれだけ普及している中で、何の制限もなく誰でも自由に閲覧可能な状態にあることは、〇〇様から御指摘いただきましたように、安全管理上の課題も多く、当時保護者からいただいた同意書の有効性にも疑問があると考えられます。</p> <p>この度、現状を気にかけてくださり御連絡いただいたお話を真摯に受け止め、各学校と適切な掲載年数について協議した上で、一定年数以上の過去の写真は閲覧ができないよう、年次更新の際に設定を行うことを管理会社とも検討をして参りたいと思います。</p> <p>今後とも御理解と御協力をお願いいたします。</p>	学校教育課

令和5年2月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
2月3日	2月13日	学校給食 学校給食費の無償化に取り組んでいただき、ありがとうございます。市内の小学校に通う子どもをもつ親です。価格高騰によるのか事務員不祥事による影響があるのか、学校教材費など学校における費用がかなり上がっているように思います。ですから給食費の無償化はとてもありがたい政策でした。もし、このまま無償化して下さるなら、まずは地産地消に取り組んでいただき、台風被害や異常気象によってもたらされた廃棄せざるを得ないまだ食べられる食材を優先的に給食に取り入れてもらい、調理人の方々やメニューを考えて下さる方の苦労はあるかと思いますが、食材コストを下げる為の工夫、政策を考えていただけたら、これもまた子どもにとってもいい影響を与えるのではないかな？と思います。そしてぜひ、引き続き給食費の無償化をお願いしたいです。宜しくお願い致します。	日頃より、学校給食に対しご理解、ご協力をいただきありがとうございます。 令和4年度の学校給食は、食材価格が高騰する状況の中で、国の臨時交付金を活用できたことから、10月からの半年間、給食単価を約10%増額して給食の質を確保した上で、その交付金を財源として学校給食の無償化を実施しました。 令和5年度については、未だ物価高騰が続く中、高騰前の給食単価に据え置けるよう、約10%の学校給食増額改定分について、沼津市が負担をすることで、子育て世帯の負担軽減を図り、子供たちの健全な教育環境の確保を図るべく、予算確保に向けた調整に取り組んでおります。 地産地消につきましては、これまでも生産者及び関係者に協力をいただき、根方産の長ネギや金岡産の大中寺芋をはじめ、様々な地元食材を給食で使用していますが、今後も地産地消をより一層推進してまいります。 また、学校給食で使用する食材については、アレルギー対応や食中毒対策などのため、1つ1つの材料について給食に使用することが適切であるか、栄養士等の専門職が厳正に審査しております。このため、災害等で発生する廃棄食品等を、学校給食に使用することは、厳選、加工処理、安定供給の面からも難しいことをご理解ください。 食材コストの縮減につきましては、食品ロスが出ないよう献立に基づき計画的に食材を調達するなどの取り組みを行っていますが、引き続き安全で安価な食材が調達できるよう取り組んでまいります。 今後とも、安全安心で美味しい学校給食を通じて児童生徒の学校生活を支援し、教育の充実及び福祉の向上に努めてまいりますのでご理解ご協力をお願いいたします。	学校教育課
2月13日	3月8日	中学生の部活動 先日、令和5年度からの中学校の部活動についてのプリントを頂きましたが、国の方針として今後部活動は学校と切り離していくのだとは思いますが、既存の活動以外の地域での受皿もまったく進んでいない状況で中学校側だけ切り離しの対応をどんどん進めているように感じます。子供たちは、急に学校の部活は任意ですとお好きにどうぞと言われ、地域にやりたい活動が無かったり、家庭の事情で出来なくても諦めるしかない状況です。親としても、ほとんどの家庭で親は不在のなかで放課後の時間を過ごす事に不安を感じます。選択の自由があるのは良い事だと思いますが、選択肢があまりにも少ないと感じています。	相談者様が御心配されているように、部活動に係る地域での受け皿につきましては、これから順を追って確保していかなければならないものと考えております。 来年度も、既存の学校での部活動を継続してまいります。 その上で、有識者や関係者との協議等を通じて、地域移行に向けた体制を、順次整えていく予定であります。 このため、受け皿等の見通しが立たない中で、直ちに学校から部活動を切り離すことは考えておりません。 不透明な点もあり、御心配をお掛けしているところではございますが、国の動向にも十分注意を払いながら、保護者の皆様には随時丁寧に情報を提供してまいりたいと思います。 引き続き、子供たちの自主的・自発的な活動を見守り、支えていただくとともに、学校の教育活動等への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。	学校教育課

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
2月20日	3月1日	<p>学校の体温チェック コロナが5類になろうとしています、学校の体温チェックはいつまでやるんですか？ アプリにしても紙にしても、いつまでも煩わしいです。そもそも、本当に毎朝体温測ってる家なんてほとんどないでしょうし。アプリは使用料もかかりますし。 そもそも今までしてきた体温チェックによって、感染が予防できたとか、メリットって1つでもありましたか？</p>	<p>日頃より本市学校運営にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。 学校における体温チェックにつきましては、学校内におけるウイルスの感染拡大防止の観点から、発熱や咳等の症状がある児童生徒の自宅療養を徹底するため、文部科学省の衛生管理マニュアル等に基づき、健康状態の把握をお願いするものです。 体温チェックや健康観察だけでは学校内における感染拡大を完全に防ぐことはできませんが、自身では発熱に気が付かない児童生徒も、早期に病院受診し療養を開始することができる等、感染拡大防止のみならず、個々の児童生徒の早期回復にも有益であると考えております。 新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけとしての5類への変更が本年5月8日に予定される中、政府対策本部は令和5年4月1日以降の新学期におけるマスクの着用の考え方について「学校教育活動の実施に当たっては、マスクの着用をも求めないことを基本とする」等としており、これらに係る留意事項は改めて提示される予定です。 一方で、マスク着用の考え方の見直し後においても、基本的な感染対策は重要であり、保護者や周りの大人が個々の児童生徒の体調には十分注意していく必要があると考えております。 教育委員会といたしましては、現時点においては、健康状態の把握は引き続きお願いしていく必要があると考えておりますが、国の動向等を踏まえ、感染防止対策の必要性和教育活動や保護者負担への影響を考慮しながら対応してまいりたいと考えております。</p>	学校教育課

令和5年1月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
1月25日	2月13日	<p>子供の防寒着について 子供の現状では(中学)制服の上のカーディガン、マフラー、手袋、膝掛け等は、学校からの指示がある迄使用不可。 制服の下にベスト、セーター等の着用可だが、室内での調整は非常に不便。 部活動の日は何故かジャージの上にカーディガン、マフラー不可です。部活動で揃えた上着がある場合は可。 これは差別ですよね。 制服の上はカーディガン以外不可なので、 登校時、零度を下回る極寒、強風等の場合はかなり厳しいと思われます。 昭和の私の時代も関東でしたが、制服の上にコート可でした。 昔からの古い慣習なのか、特に公立の中高で同じような偏った規制を耳にします。 防寒着に関してはかなり個人差があると思うので、着用の時期や種類は自己判断でいいのではないのでしょうか。 毎年、寒くなっても指示がある迄我慢して登校しているのを疑問に思っていました。</p>	<p>日頃より、本市市立中学校の運営に御理解をいただき、ありがとうございます。 中学生の制服等の服装をはじめ、学校生活の約束事につきましては、校則において規定が設けられています。 これは、自ら中学生としての自覚を持ち、自分を律することができるようにすること、華美な服装等に注意を払うことなく、校内で学業に集中できるようにすること等、学校においてより良い共同生活を送るため、一人一人が共通して守るべきルールとして位置づけられるものです。 一方、服装につきましては、防寒や健康への配慮等、必要に応じて自己判断に基づく柔軟な対応を可能とすべきであり、各自の健康状態に応じた服装の着用を認める旨を校則において規定している学校もあるほか、コロナ禍における感染防止対策として、学生服等に替えずジャージによる登下校を認めている学校もあります。 また、部活動時においても、同様の考え方に基づくべきであると考えております。 教育委員会といたしましては、いただいたご意見を踏まえ、服装については必要に応じて柔軟な対応をするよう、各中学校に対して指導するとともに、服装等を規定する校則についても、生徒が学級活動や生徒会活動等を通じて主体的に考える機会を確保すること、教職員や児童生徒、保護者、学校運営協議会等の意見を反映させる体制を整えること等に留意した見直しを図るよう、ガイドライン等に基づいて指導してまいります。</p>	学校教育課

令和4年12月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
12月23日	1月20日	<p>市営球場での遊び禁止について(中学生) 子供が第五中学校に通っている保護者です。 先日、「苦情が入ったので市営球場で遊ぶのは禁止」と担任の先生から話があった、と子供から聞きました。 苦情の内容について先生から特に説明はなかったとのことで、どういった経緯があり、なぜ禁止になったのか、生徒の意見は聞いたのか、話し合いをする余地はなかったのか等、知りたく思っております。</p> <p>なお、第五小学校では、そのような話は出ていないのか禁止とは聞いておりません。 禁止になった理由はおそらく、駐車場で遊んではいけない、ボール遊び等が危ない(迷惑(車両や通行人に危険)といった理由で学校側に苦情が入ったのではないかと推測しています。 しかし、学校周辺には、中学生がのびのびと遊べる公園や広場がありません。校庭も部活動優先で自由に遊べる場ではありません。市営球場は市の公園としてカウントはされていますが、大人向けの健康器具が置かれているだけで、子供の楽しめる遊具や広場はありません。 球場が使われていないときは駐車場に車は停まっておらず、周辺に民家も無いことから、長年、第五地区の子供たちにとっては「市営球場の駐車場」が、子供たち同士で集まって野球やサッカーなどで遊べる唯一の場所でした。 子供たちの長時間のスマホ利用や体力不足が問題になっていますが、近所に自由に遊んだりカラダを動かせる場所があれば家でスマホやゲームを見ているしかありません。それも家庭によっては禁止でしょう。あれもダメこれもダメで子供たちから気力や元気を奪っているのは、私たち大人です。 市営球場が公共の場で、子供たちの遊んでいる場が駐車場であることは承知しています。しかし、第五地区においては現実問題として、子供たちが自由に集い遊ぶことのできる場所は、市営球場の駐車場くらいしか無いのです。 長野県で公園閉鎖のニュースもありましたが、もし近隣から苦情が入るのであれば、生徒に一方的に禁止と伝える前に、市に相談をしたり、生徒や当事者双方の話を聞く場は作れなかったでしょうか。 コロナ禍において制限ばかりこうむってきた子供たちが、小さな自由や喜びすら奪われてしまったようで、親として悲しい気持ちです。どうせ大人は自分たちの意見なんか聞かないと、子供たちにさらなる絶望と無力感を与えてしまったのではないかと悲憤な気持ちです。 第五地区は、沼津市のコミュニティスクール指定地区です。第五地区のホームページには「地域ぐるみで子どもたちの確かな学びや豊かな成長を支える」との文言が掲載されています。 https://www.dai5komi.com/service.html 地域の問題は、まさにコミュニティスクールの出番だと思えます。 市営球場は市の施設であることから、まずは市に状況を知っていただく必要があると思ひ、市民の声より相談と要望としてお送りいたします。 今回の件で1番問題に感じる点は、学校側が一方的に禁止と決定している点です。生徒や保護者に向けて説明や話し合いの場を設けたり、第五地区コミュニティスクールを活用し、地域ぐるみで考えることはできなかったでしょうか。 なぜ球場での遊びが禁止になったのか、どうしたら子供の遊び場を確保できるか、生徒とともに地域の人やPTAなどを交えてアイデア出しやルール作りをするなど、建設的な話し合いをすることは「人権教育」としても重要だと考えます。 生徒にとっても、地域の人達との交流・議論は、自立や主体性を促し、課題対応能力を身に着け、地域の良さやつながりを感じる機会としても大切なことです。 個人的な意見としては、市営球場の「中」で遊べる日は設けられないのか、球場未使用時の一般開放を市としてご検討いただく余地はないのか知りたく思っております。 なお、近隣には「サンウェルぬまづ」がありますが、コロナで学生利用が禁止されたまま3年が経ちます。大人や高齢者、乳幼児は集って利用できるのに、なぜいまだ小中高生だけ禁止なのか疑問に思っております。せめて第8派が収束したタイミングで小中高生が利用できるような見直しをご検討いただきたいと思います。 ちなみに、サンウェルでは今年の春から、子ども食堂(居場所作り)の活動が行われていたことを最近知りました。先日、活動場所を訪ねましたが、大ホールを借りているので雨の日でも室内で運動できるとのこと。お菓子や飲み物、ボードゲーム等の用意もあり、夜には高校生も集まるとのことでした。 もし、市営球場駐車場で遊びは禁止でくつがえらなないのであれば、代替策としてこういった居場所の活用を促す・周知するのも1つの方法かと思ひます。 最後になりますが、第五地区では朝のあいさつ運動・旗番番、地域の方たちが担ってくださっています。子供たちの安全と成長を保護者に代わって見守っていただき感謝しております。沼津市で取り組まれている10月から半年間の給食費無償化も大変ありがたく思っております。 学校や行政において、できることとできないことがあるのは重々承知しておりますが、子供たちの置かれた現状を少しでも知っていただきたく、市民の声として送らせていただきます。</p>	<p>日頃より本市学校教育にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。 また、貴重なご意見をいただき、改めてお礼申し上げます。 いただいたご意見について第五中学校に確認したところ、市営球場の駐車場において、夕刻に生徒が集団で遊んでいたことに対して、外部から苦情が寄せられたことから、その翌日に担任を通じて駐車場で遊ばないように指導したとのことでした。 車の出入りが多い駐車場で遊ぶことは、駐車場の利用者にも迷惑をかける上、そこで遊ぶ生徒も危険なため禁止されているとの趣旨でしたが、第五校区ではご指摘のとおり、生徒が放課後に外で遊んだり、自由に使うことができる居場所が限られていることも事実であると考えております。 一方で、第五中学校区は、コミュニティ・スクールを他校区に先駆けて令和2年度に導入した2校区のうちの1つであります。 コミュニティ・スクールは、地域の子供をいかに地域が見守り育てるかを学校、保護者及び地域が議論した上で、保護者や地域の意見を踏まえた学校運営に取り組んでいくものです。 教育委員会といたしましては、この趣旨に基づき、子どもの居場所づくりの観点から、いただいたご意見についても学校運営協議会における課題として捉えていただくよう、第五中学校区学校運営協議会及び地域学校協働本部に働きかけてまいります。</p> <p>なお、サンウェルぬまづ3階の共用ミーティングコーナーにつきましては、学生のみならず全面利用禁止としておりましたが、令和5年1月から、段階的に開放しております。コロナ禍において、皆様にご気持ちよくご利用いただけるよう、利用方法やルールを検討しながら進めているところで。</p>	<p>学校教育課 社会福祉課</p>

令和4年11月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
11月2日	11月24日	<p>教育総合会議 先日行われた教育総合会議を傍聴させていただきました。このような大切な会議を市民が傍聴できるようにしていただきますことをとてもありがとうございます。私は子どもがまだ3歳で小さいのですが、これから享受する教育にとっても関心があります。会議を伺いながら感じたこと、および今後行われる会議や取り組みについて思うことがあり、せっかくこのようなフォームがあるので送りさせていただきます。</p> <p>(1)教育総合会議のテーマ2(および3)のコミュニティスクールについて この取り組み自体の周知をもっと進めなければいけないという話になり、それは大変同意いたします。それと共に、もう少し「地域の人にとっての魅力」を具体的に掘り下げる必要があると感じました。聞いている限り講師と呼ぶ地域の人のメリットは「自己有用感、やりがい」といったところに終始しており、乱暴な言葉を使えば「じーちゃんばーちゃんはこどもたちと触れ合ったら幸せだろ」というような決めつけを感じてしまいました。講師の方が高齢者であっても10代であっても、何かを提供してもらったら対価を支払うのが基本であり、その基本的なスタンスは共有してほしいなと思っています。その上で限られた予算のなか、金銭による対価がないとしても、例えば自治会の仕事を学校で手伝ったり、講師として来ていただいたことをメディア等で取り上げてその方の今後につながる動きをするなど、しっかりとしたメリットがあってこそ地域の人の積極的に携わってくれるのではないのでしょうか。もちろん、小中学生と地域の人に面識が増えることは日常・災害時についても大事なことだと思います。それも行政や学校側が積極的に具体的にネットワークを作るなどの動きが見えれば協力する気持ちも起きると思います。人に来てもらう、何かを提供してもらうならばそのwinが本当に相手にとってのwinなのかを丁寧に協議していただきたいと感じました。</p> <p>(2)今後の会議内容や取り組みについて 今回はじめて傍聴させていただき、学校教育については統廃合など大きな課題がたくさんあるのだなということをとでも理解しました。その上で、子どもひとりひとりへの対応やケアといった点もとても重要だと考えています。発達障害が言葉としては一般的に広まってきて中で、学校側も色々な対応を取られていることだと思います。多様性をどう受け止めているのか、専門家がどんな形に入っているのか、そのあたりが市民にもわかるような公表があると良いなと思っています。聞いた話で恐縮ですが、たとえば学校では「食育」の名の下に、かならず給食ではどんなに食べることが難しいものもすべてのメニューを一口は食べなければいけないというのがあると聞きました。(聞いた母数が少ないので全部ではないかもしれませんが)食べなければ屋休みに遊びに行けない。それは本当に食育なのか、疑問に思っています。その時間を過ぎてもどうしても食べられないその一口を食べることが、そんなに大切なことなのか。その根拠はどこにあるのか。それに対して親も医師も仕方なく味覚過敏などの診断書を提出し弁当持参をするなどの話も聞きます。そういうルールというものほど怖いものはなく、人間的、合理的な判断を教師の意思で行える柔軟な姿勢が現代では重要だと思います。もちろんそれは教師の方が児童生徒ひとりひとりをよく観察し、頑張れる範囲なのか特性として難しいのかを判断する必要があり、それには専門家による講習なども必須となってきます。(非定型発達の人は「なんとか頑張ればできるがしんどい」ものがとても多く普通の生活をするのがすごく疲れます)以前医師の方や心理士さんと話した時に、沼津(というか静岡県東部)は発達に関する支援が他地域に比べて極端に少ないとのことでした。施設を整えるのは時間がかかる話ですが、せめてその分野に対する理解は先進的であるべきだと思います。</p> <p>先日の会議では、行政の会議という原稿を読むだけ?とも思っていましたがとても熱のこもったものでした。市長さん、教育委員会の皆様、教育企画課の皆さまの話の聞き、皆様とても熱心で視点も鋭角であり、失礼な言い方になってしまうかもしれませんがとても信頼できる方々と自分の目で確かめることができたので、この投書をお送りさせていただきます。今後ともどうぞ沼津の教育をよろしく願いいたします。</p>	<p>総合教育会議を傍聴していただき、また、貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。</p> <p>(1)総合教育会議のテーマ2(および3)のコミュニティスクールについて コミュニティ・スクールにつきましては、総合教育会議の中でもお伝えしたように、令和2年度からモデル地区を指定し、毎年度拡大を図りながら、全ての地区での導入を目指しております。ご指摘のとおり、まだまだ地域の保護者や住民の方々にも正しく伝えられていないことが課題であると捉えております。会議の中で市長からも発言があったように、今後の情報発信の仕方を検討し、地域と学校が同じ理解・目的のもと、コミュニティ・スクールをうまく機能させることによって、地域の魅力づくりや活性化にもつなげてまいります。</p> <p>(2)今後の会議内容や取組について 学校教育には、今回の総合教育会議で取り上げたことにとどまらず多くの課題がございます。ご指摘いただきましたように、学校教育の中で多様性をどう受け止めていくのかということは大きな課題であり、社会情勢の変化に合わせた取組が必要であると考えております。今後もしいただいたご意見を励みに、多様なニーズに丁寧に対応できるよう、誰一人取り残さない支援体制の構築を進めるとともに、子供たち一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばす教育の実現に向け取り組んでまいります。また、総合教育会議につきましても、教育行政に関する大きな方向性について、市長と教育委員会が協議・調整する場として定期的に開催してまいります。</p>	教育企画課

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
11月2日	11月16日	<p>夕暮時の中学生の制服、持ち物について 小学生、中学生の子供がいる市民です。 日が短くなり、夕方中学生が帰宅する時間にはかなり暗くなります。11月に入り部活動の時間も短縮されましたが、家が遠いのもあり帰宅は17:30です。制服や鞆に部分的に反射材はあり靴は白ですが、プラスで荷物を持っていたり、また雨の日濃色指定の傘を使っていたりするとかなり真っ黒な服装となります。 女子はまだ足が出れば見えるのですが、男の子は車で見かけても全身真っ黒で危なく思います。 小学生は、明るい色の服を着せることができても、中学生以上はどのような方法でもありません。 子供に、反射材をかければ？など提案しても嫌がります。それは学校の決まりではないこと、だからです。 道路側の腕に腕章のような反射材をつけるだけでだいぶ違うと思います。</p> <p>明色の上着や傘の使用を推進したり、何時以降は反射材を着用するなど、制服の一部として提唱していただけると子どもたちも着用するようになるのでは、と思います。 日没後の子供たちの安全に力を入れていただけると助かります。</p>	<p>日頃より、本市の学校教育に御理解、御協力をいただき、ありがとうございます。 反射材付き腕章の着用につきましては、通学時の安全確保の観点から、過去には制服との同時着用を義務付けておりましたが、反射材付きの背負いかバンへの指定切替等に伴い、現在は、市内各中学校とも着用の義務付けを行っておりません。 しかしながら、日が短くなる秋冬期には部活動の終了時間を早めたり、通学路の危険箇所の改善に取り組む等、通学時の安全確保に向けた対策は講じているものの、御指摘のとおり、夕暮れ時や雨天時には自動車等からの生徒の視認性は大きく低下し、十分な安全が確保できないことが心配されます。 そのような事から、手軽に腕に巻いたりバッグに取り付けたりすることができる反射材付きのベルトやキーホルダー等について、華美にならない範囲で、各中学校においてもその着用を認めております。 教育委員会といたしましては、警察も夜間の反射材使用を推奨していること等を踏まえ、各中学校を通じ、反射材付きのベルトやキーホルダー等の着用について、生徒や保護者に対し周知啓発に取り組んでまいります。 また、現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため更衣室の一斉利用を避ける必要から、校内で制服から着替えたジャージのまま帰宅することも認めております。</p>	学校教育課
11月29日	12月21日	<p>門池小人数多すぎ 息子がこの春、門池小に入学しました。 沼津市内で児童数が一番多いことは知っていましたが5クラスあります。1クラス当たり30か29人ですが。 先日授業参観へ行ってきました。 ・30人とはいえ教室がぎっしり(前後・左右の机の間隔が狭い) ・クラスによって授業の進み具合に差が出ている。 2学期始めの時点か？その時にすでに他クラスより国語や算数に遅れが出ているから、他の授業予定を国・算に当てて追いつくようにした。と子供から聞いた。 大事な1年生の時に、他クラスに追いつくようにサーッと勢いで教えてもらったら、来年以降クラス替えした時にとても不安。 門池校区はまだまだ住宅が増えつづけています。前にも書いた時にはR4年度が児童数のピークになるだろうと返事をもらいましたが本当か？まだ増えていく気がします。 新しい学校を作る(これが理想...)のは、難しいと思うが、隣接する学校と同じぐらいのクラス数になるように校区の見直しとか考えて。 人数が多いがために、行事に制限がかかったりしているかも？運動会や参観のできる時間とか、遠足もないし。</p>	<p>今年度、教育委員会で実施した児童生徒数推移の推計では、令和4年度をピークに児童生徒数は徐々に減少していくと見込んでおりますが、御指摘のとおり門池校区では住宅が今後も増えることが想定されます。児童生徒数の推移に十分注視し、門池校区の児童生徒数の増加傾向が続き、教室数が不足すること等が予想される場合には、保護者や地域住民の皆様の声聞きながら、必要に応じて通学区域の見直し等を検討していきます。 1クラスの児童生徒数について、静岡県内の公立小・中学校では、35人までの学級編制と定められており、学校の規模に関わらず、1つの学年の児童生徒数に応じて、学級数と1学級の児童生徒数が決まります。 授業の進捗につきましては、学年で適宜進捗状況を確認し、クラス間で差が出ないように配慮しております。しかしながら、児童の欠席状況や担任の出張等で他クラスと比べ、多少の差が生じることもあるため、遅れることがないよう、担任に代わって入った教員が授業を進めたり、別の日と授業を入れ替えたりする等の対応をしております。 学校行事につきましては、コロナ禍の影響により、行事の精選のほか、学校の規模によって程度に違いはあるものの活動の制限をせざるを得ない状況にあります。そのような中、どの学校も、運動会や授業参観、校外学習等の学校行事を含め、なるべくコロナ禍前の教育活動に近づけられるよう工夫を重ねております。保護者の皆様には、御心配をお掛けすることもあると思いますが、今後も児童のより良い教育環境に努めてまいりますので、よろしく願いいたします。</p>	教育企画課

令和4年7月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
7月1日	7月12日	<p>市内小中学校への自動販売機設置</p> <p>市内の小中学校に子どもたちが通学していますが、学校から「水筒の水を飲みきってしまう子がいるので そのような家庭では2本目の水筒を・・・」という連絡がありました。</p> <p>校内の水道はコロナ感染予防のために使用できないので自宅から持参をしてください。ということですが、現状 ランドセルの中には教科書・ノートなどの教材やクロムブックと</p> <p>絵の具や書道のセット・プール用品・水筒・月曜日や金曜日は上履きなどで荷物が大量にあり、ここに もう1本水筒を・・・というのは現実的ではありません。</p> <p>そこで、学校内にペットボトルの水だけを販売している自動販売機を設置いただけないでしょうか。</p> <p>普段は家から水筒を持たせますが、飲みきってしまった場合だけ自動販売機を使用できる(または学校内の事務室などで購入できる)ようにしていただけると</p> <p>子どもには小銭を持たせるだけで済みます。</p> <p>いろいろ調整等もあり大変とは思いますが、ぜひともご検討くださいますようお願いいたします。</p>	<p>日頃より、市立小学校運営に御理解、御協力をいただきありがとうございます。</p> <p>例年よりも大幅に早い梅雨明けを迎えた今年は、熱中症予防の観点から水分摂取が例年にも増して重要となっておりますので、保護者の皆様には、児童がいつでも水分補給できるよう、毎日の水筒の準備で御負担をおかけしております。</p> <p>また、中には水筒の飲料を飲み切ってしまう児童がいるため、必要に応じて水筒の追加持参や容量の大きな水筒への交換をお願いしているところ です。</p> <p>一方、学校の水道水については、一部の学校において、蛇口を經由した新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、歯磨き時を含めて水道の蛇口からの水分摂取を制限しておりましたが、現在は歯科衛生や熱中症予防の観点から、蛇口に直接口を付けずコップ等を使用して水分を摂取する等、必要な感染防止対策を講じた上で、水道水の使用を順次再開しております。</p> <p>このようなことから、現時点においては、小学校においてペットボトルの自動販売機の設置は考えておりませんが、今後の感染状況等を踏まえ、熱中症予防対策を検討してまいります。</p>	学校教育課
7月19日	7月26日	<p>マスクの着用について</p> <p>いつもご苦労様です。</p> <p>新型コロナの第7波やらなんやら、お忙しいところ失礼いたします。</p> <p>そのコロナの感染対策に関し、</p> <p>埼玉県の所沢市の教育長様が市民へ発信したマスクに関する記事があり、それはとても興味深く、私としてはとても素晴らしいと感じました。</p> <p>是非一度、ご覧になっていただきたいです。</p> <p>https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kosodatekyouiku/kyoiku/rinjikyugyo/message.html?fbclid=IwAR0vNbnUhrYcdSoiviKp2lYtmK1xY1B_UCXR4NMvsPtqjyisqnhbLmTKIhM&fs=e&s=cl</p> <p>沼津でも全国に先駆けて、マスクに頼り切った、子供の今後に不安しか感じないような感染対策ではなく、別の角度からコロナ感染対策を講じていくのはいかがでしょう？</p>	<p>日頃より、市立小学校運営に御理解、御協力をいただきありがとうございます。</p> <p>熱中症が心配される時期を迎えたこと等を踏まえ、また所沢市教育長の御意見のとおり、マスク着用が必要ない場面において児童生徒が無理に着用することのないよう、小中学校においては学校集会や学級指導等、様々な場面において、校長や担任等を通じて周知を図っているところ です。</p> <p>一方で、現在、新型コロナウイルスの変異株への置き換わり等により、新規感染者が再び増加傾向にあり、かつその傾向がこれまでの状況を大きく上回るレベルで進んでおります。</p> <p>このことを踏まえ、各小中学校においては、基本的な感染対策(「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等)の徹底が再び必要な状況にあると考えております。</p> <p>教育委員会といたしましては、現在の感染状況を踏まえ、熱中症予防及び感染防止対策の徹底の両立が、児童生徒が夏休みでなければできない貴重な体験を積み重ねる上で不可欠であると考えております。</p> <p>このことから、これらに資するマスクの正しい着脱に向けて、様々な場面や方法を通じて周知徹底を図るよう、各学校を指導してまいります。</p>	学校教育課

令和4年6月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
6月13日	6月29日	<p>沼津市の給食費について コロナや戦争の影響で全国的に物価が高騰し家計を圧迫しています。 ご飯をまともに食べられない家庭の子も多くいると聞いています。 子供達の健康を守るための給食費の無償化を検討していただきたいです。 すでに全国のいくつかの自治体では中学までの給食費の無償化が実施されています。 ぜひとも沼津市もこれに続いていただきたい。 ご検討よろしくお願ひ致します。</p>	<p>日頃より、学校給食に対しご理解、ご協力をいただきありがとうございます。 学校給食については、学校給食法に基づき、職員の人件費や施設、設備に要する経費以外は保護者の負担とされており、受益者負担の原則から食材にかかる経費については、学校給食費として保護者の皆様にご負担をお願いしております。 なお、本市では経済的な理由でお困りの保護者には、給食費など学校にかかる費用を援助する「就学援助制度」により支援しているところです。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症やウクライナ紛争等の影響により、国際情勢が不安定な状況となり、国内でも物価高騰が続いております。 特に子育て世帯においては、家計のやり繰りに大変ご苦労しているものと推察いたします。 そこで本市では、本来物価高騰に併せて値上げをせざるを得ない給食費を据え置くとともに、本年10月から来年3月までの半年間ではありますが給食費を無償にすることといたします。 今後も児童生徒をはじめ保護者の皆様の生活を支援し、子供たちの福祉の向上及び教育の充実に努めてまいりますのでご理解ご協力を願ひいたします。</p>	学校教育課

令和4年5月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
5月9日	5月24日	<p>小中学のトイレ改修について 全2件 門池小トイレについて 子供が4月に入学しました。 学校のトイレが、ほとんどが和式で使い方がわからない。 汚い、くさい、イヤダと言っていました。 学校にも慣れてきて、なんとか和式トイレも使っているようです。 (使わざるを得ない・・・) 沼津市内の公立小・中学校は、トイレを洋式化にしているのですか？ 順番に変えているのでしょうか？ その場合、門池小はいつ頃の予定ですか？</p>	<p>御指摘のありました小中学校のトイレについてですが、日常的には教職員とともに児童・生徒によるトイレ清掃を行っているほか、設備の不具合等については、学校からの連絡により迅速に状況を確認し、業者による修繕等を行っているところです。今回、御意見をいただいたことから、改めてトイレ環境の向上について、学校と協議してまいります。</p> <p>また、これまでも平成28年度から30年度の間集中的にトイレの洋式化を進め、校舎にあるトイレの半数以上を洋式トイレに整備しているほか、本年度はすべての小中学校の体育館のトイレを洋式化する予定です。未だ和式トイレが多く残っていることから、御心配をお掛けし、みなさまから御意見をいただいているところですが、引き続き、順次改修を進めてまいります。</p> <p>なお、洋式トイレの整備とともに、床のドライ化や多目的トイレの設置といったトイレ環境の改善については、校舎の建替えや改修等、施設内のレイアウトを大幅に変更できる機会を行うことを基本としています。</p> <p>このような中、本市では、令和3年3月に策定した「沼津市個別施設計画(公共建築物編)」において、市内の小中学校の建替えや改修等について、各校舎の老朽度などを考慮し、計画的に進めていくこととしており、御指摘いただいている門池小学校についても、令和元年度に新築した南西校舎以外の北校舎、南校舎の改修等を順次、計画的に実施していくこととしています。</p> <p>今後も、児童・生徒にとって気持ちの良いトイレ環境となるよう努めてまいりますので、何卒、御理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。</p>	学校管理課
5月9日	5月20日	<p>子供のマスク着用について コロナも長期化してきて子供のマスク着用も長くなってきて、毎年なのですが暑くなる時期のマスク着用が心配です。学校内では密になりやすいのでわかりませんが、登下校時のマスク着用は少し緩くしてもらえませんか？ うちが学校から遠く夏はただでさえ汗だくで顔を真っ赤にして帰ってきます。私も何度かマスクをして学校まで往復しましたが大人ですら息苦しくて頭がくらくなりました。ランドセルを背負ったら尚更。 登下校や体育など暑い時期のマスク着用はコロナよりも熱中症のほうが怖いのです。大人ですら会食にはマスクを外すのに外で活動する子供がマスク着用は可哀想です。 子供の夏のマスク着用のマニュアルをもう一度検討していただけないか？</p>	<p>日頃より、市立小学校運営に御理解、御協力をいただきありがとうございます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症については、オミクロン株やその亜系統のBA. 2株の出現・置き換わり等により、全国的にも感染者数が高止まりを見せております。</p> <p>本市においても、児童生徒や教職員の感染が確認される中、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づき、感染防止対策の徹底とともに、学校毎の感染者数の状況に応じて学級閉鎖や学年閉鎖をすること等により、学校からの感染拡大防止に努めております。</p> <p>教育委員会といたしましては、前述のマニュアルにおいても児童生徒や教職員の間で身体的距離が十分取れないときはマスクを着用するべきとされており、換気、手洗い、消毒の徹底や給食の黙食等と並び、学校における感染防止対策の一つとして重要であると考えております。</p> <p>なお、十分な身体的距離が確保できる場合や、熱中症などの健康被害が発生する恐れのある気温・湿度や暑さ指数が高い日、体育の授業においては、マスクの着用は必要ないとされていることから、児童生徒が暑さで息苦しいと感じた時などにはマスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸したりする等、自身の判断でも適切に対応できるよう、引き続き学校に指導してまいります。</p>	学校教育課

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
5月26日	6月7日	<p>小学生の登下校時のマスクについて 夏に向けて屋外でのマスク不要の議論ができています。未だ、学校からは何の連絡もないため、子供たちは律儀にマスクをして登下校し、顔を真っ赤にして帰ってくることも増えました。</p> <p>おそらく、学校、教育委員会でも登下校時のマスクについて議論され始めているのだと思いますが、1つ提案です。</p> <p>子供たちはおしゃべりしたりくっついていたりして歩いているので、マスク不要とするのをためらっているのかもしれませんが、熱中症の危険があるため登下校時のマスクは暑い時期は不要としたほうが良いと思います。</p> <p>その上で、日傘の使用を推奨してみたらどうでしょうか？熱中症予防に効果がある上、日傘をさすと自然と他人との距離ができるので一石二鳥です。</p> <p>どうかご検討ください</p>	<p>日頃より、市立小学校運営に御理解、御協力をいただきありがとうございます。</p> <p>本市においては、児童生徒や教職員の新型コロナウイルス感染が引き続き確認されており、引き続き、地域の実情に応じた基本的な感染対策(「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等)を徹底していく必要があると考えております。</p> <p>一方で、文部科学省の学校衛生管理マニュアルにおいては、従来より、十分な身体的距離が確保できる場合や、熱中症などの健康被害が発生する恐れのある気温・湿度や暑さ指数が高い日、体育の授業においてはマスクの着用は必要ないとされておりましたが、この度、文部科学省や県から、マスク着用を不要とするケースと着用を推奨するケースが改めて明示されたところです。</p> <p>教育委員会といたしましては、こうした明示に基づき、マスク着用が必要ない場面において児童生徒が無理に着用することのないよう、小学校における指導を徹底してまいります。</p> <p>また、ご提案をいただいた日傘の使用については、熱中症予防と身体的距離の確保に有効であると考えられますが、通学時の前方確認における支障や片手が使えない不自由さが懸念されます。</p> <p>既に熱中症予防のため帽子を使用している保護者もいることから、日傘を推奨することは難しいですが、熱中症対策の一例として日傘の使用も可能である旨、周知をしてみたいと考えております。</p>	学校教育課

令和4年4月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
4月18日	4月28日	<p>先生の数 私の子供が通っている小学校は、先生の数が減りました。クラスも減りましたが、級外の先生の数も減り、先生方が大変だという話を聞きました。 その点、〇〇小に子供が通っている友人に聞くと、級外の先生も多く、大変手厚いという声を聞きました。 沼津市は小学校によって、先生の数に差を付けているのですか？手厚い学校と手薄い学校と。 沼津市は先生の不祥事が起きていますが、それは先生の数が少ないことによる多忙も原因なのではないですか？ しっかりと平等に先生が配置されているのか甚だ疑問です。 県などにもきちんとかけあっているのでしょうか？ 市長も先生が少ない学校があることを問題としてとらえてほしいです。 お金をかけて先生を雇うとか、先生が無理なら支援のスタッフを配置する予算をつけるとか。 クレームが入った学校には手厚くしたりしているんですか？？？</p>	<p>日頃より本市学校教育に御理解、御協力をいただき、誠にありがとうございます。 小中学校教職員の人数については、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」に基づき、各小中学校のクラス数に応じた標準の定数が定められており、全国の市町村ではこの基準に基づき各都道府県から教職員が配置されております。 さらに静岡県では、他県に先駆けて全学年において1クラスあたり35人を上限とする独自の取組が行われており、本市においても同じ児童生徒数で比較すると他都道府県よりも多くの教職員が確保されておりますが、個々の小中学校においてこれらの基準を下回る配置は行われておりません。 なお、法律改正により、本年度からは国の基準においても、段階的に移行することとされておりますが、本市といたしましては教育環境の改善に向けた教員数確保のため、引き続き定数の一層の改善を国及び県に要望してまいります。 また、個別の学校においては、各学校の実態に応じて静岡県が加配の教職員を配置する学校がある一方、産前産後休暇や育児休暇取得の間の代替教職員を確保することが難しく、現在も募集している学校も一部存在するため、引き続き教職員人材バンクの活用や関係機関との連携の下、代替教職員の確保に努めてまいります。 さらに本市においては、小学校1年生の通常の学級や特別支援学級を中心に、各学校のクラス数や個別の課題に応じて柔軟な支援を行う「児童生徒支援員」のほか、学習につまずいている児童生徒の個別支援を行う「放課後学習支援員」等を、独自の取組として配置しており、より良い教育環境の確保に努めてまいります。 今後とも、各学校における困り感を抱えがちな学年やクラスに対しては、状況を迅速に把握し、支援員の柔軟な運用により重点的な支援ができるよう、学校とも連携して取り組んでまいります。</p>	学校教育課
4月25日	5月24日	<p>通学路について 沼津片浜地区通学路に関して 下校時の事故が減らない。 速度が速い車が多い。 スクールゾーンの設置及びガードレールの設置をしてほしい。 脇道からの車の出入りがあるので危険が多い、道路に設置されているミラーを新しくして欲しい。 近隣の市町は下校時間帯には広報を流して、運転手への注意喚起並びに地域住民の見守りを推進しているのですが、沼津市でも行うことはできないのか？ 各地区で下校時間が違うとは思いますが、地区ごとに放送を流すことはできないのか？</p>	<p>通学路の交通安全対策に関する貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。 本市においては、通学路等の安全確保のため、学校、教育委員会、警察、道路管理者等の関係機関により構成する「子供の移動経路安全推進連絡協議会」において、地域や学校等から寄せられた通学路等の危険箇所を毎年点検し、警察や道路管理者等と検討の上、順次必要な安全対策を進めております。 ご意見をいただきました片浜地区におけるスクールゾーン等の交通規制や、カーブミラー・ガードレールの設置(補修)につきましては、本協議会の取組を通じ、通学路における道路交通実態や既存施設の確認を行った上で可能な限り早急に対応してまいりたいと考えております。 こうした中、交通安全施設の設置等につきましては、地元の総意として自治会から要望をいただいた上で、警察や道路管理者等と同協議会を通じて検討し、必要に応じて対応をしていることから、市から地元自治会にご意見の内容をお伝えするとともに、〇〇様におかれましては、自治会で意見集約するための働きかけをお願いしたいと存じます。 また、通学路におけるソフト面の交通安全対策は、ハード面と同様、次代を担う子供の安全を確保する観点から大変重要であるとと考えております。 このため、全市的な取組として、年4回の交通安全運動に合わせ、街頭指導や、各自治会の有線放送による広報・啓発活動を実施しているほか、年間を通じて地域や学校における交通安全教室の開催等による交通安全意識の向上を図っております。 また、各自治会の交通安全会のご協力により、登下校時の見守り活動や、放送による注意喚起を地域ごとにも実施していただいておりますが、その取組の強化についても検討してまいります。 今後とも、1件でも交通事故を減らせるよう取り組んでまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>	学校教育課 生活安心課